



統合検索サービス 管理アプリケーションのヘルプ ArcSuite 4.0

はじめに

このたびは富士フィルムビジネスイノベーションのArcSuite[®]をご利用いただき、まことにありがとうございます。

一般に、企業活動では、各業務に関する情報はさまざまな形態のドキュメントとして存在しています。ここでいうドキュメントとは、紙に書かれた文書だけを示す狭義のものではありません。紙はもちろんのこと、ホワイトボードに書かれた文字や図表、プロジェクターやテレビに映し出された映像などを含む広義なものを指します。

ドキュメントは一般に、ひとりの手で作成されるものではなく、複数の人の意見交換や討議を経て作成されます。単純な作業や複雑な計算はコンピューターに委ねられ、あらゆる分野でさまざまなソリューションが展開されていますが、ドキュメントの作成では一般に人が中心なのです。

ArcSuiteは、「ドキュメント」に着目して「人」と「人」をつなぐ、「ドキュメント指向」のソリューション・パッケージです。ArcSuiteをご利用いただくことによって、さまざまなコンピューターシステムを統合したうえでのドキュメントの共有や管理が可能になります。

お使いの商品構成によって、次の機能が標準で提供されないことがあります。

コラボスペース、ドキュメントレビューオプション、ワークフロー、分類ビュー、関連文書検索サービス、原本性保証オプション、キャプチャリングサービス、統合検索サービス、オンラインバックアップオプション、ドキュメント一括操作ツール、連携フォルダ for DocuWorks、連携オプション for Working Folder

本書の内容は、Microsoft Windows Operating System、およびWebブラウザの基本的な知識や操作方法を習得されているかたを対象として記述しています。

Excel、Microsoft、Windows、およびWindows Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Xerox、Xeroxロゴ、およびFuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

その他の社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporationの許可を得て画面写真を使用しています。

ご注意

- ・ 本書の編集、変更、または無断での転載はしないでください。
- ・ 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本書に記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。

FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フィルム株式会社の登録商標または商標です。

ArcSuite、DocuShare、およびDocuWorksは、富士フィルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

著作権について

本ソフトウェア、およびバックアップのために複製されたソフトウェアに関する著作権等を含む一切の無体財産権は、弊社および弊社への供給者に帰属します。

(c) 2002-2021 FUJIFILM Business Innovation Corp.

マニュアル体系

ArcSuiteには、次のマニュアルおよびヘルプがあります。

マニュアルは、PDFファイルまたはヘルプの形式で提供しています。

主なマニュアルは、『ポータル画面のヘルプ』から参照できます。『ポータル画面のヘルプ』は、Webブラウザの操作画面にある【ヘルプ】から表示できます。

補足 お使いの商品構成によっては、提供されない機能の説明がマニュアルに含まれることがあります。

■ 管理者ユーザー向け

名称	概要
セットアップガイド	本製品全体のセットアップ方法について説明しています。
システム管理者ガイド	リソース管理サービスの概要、機能、管理操作を行うコマンドについて説明しています。また、本製品の運用に必要な管理作業について説明しています。
ドキュメント管理サービス管理者ガイド	ドキュメント管理サービスの概要、機能、および管理操作を行うコマンドについて説明しています。
ドキュメント管理サービス管理アプリケーション デスクトップ版のヘルプ	サーバーで行うドキュメント管理サービスの管理操作について説明しています。
ドキュメント管理サービス管理アプリケーション Web版のヘルプ	クライアントPCで行うドキュメント管理サービスの管理操作について説明しています。
オフラインバックアップ・リストア運用ガイド	オフラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作について説明しています。
リソース管理アプリケーションのヘルプ	ユーザー、グループ、ユーザーロールの追加、およびライセンスの編集、検索について説明しています。
ログインサーバー管理アプリケーションのヘルプ	ログインサーバーでの認証モードの設定について説明しています。
メッセージ通知管理アプリケーションのヘルプ	メッセージ通知サーバーの設定、メッセージのプール管理、メッセージテンプレートの設定について説明しています。
ポータル管理アプリケーションのヘルプ	ユーザープロフィールに表示する項目の設定、お知らせの設定について説明しています。
ドキュメントスペース管理アプリケーションのヘルプ	属性テンプレートや表示する属性の設定、表示するボタンの設定、およびシステム環境の設定について説明しています。
表示アプリケーション管理ツールのヘルプ	表示アプリケーションのテンプレート、システム環境の設定について説明しています。
ログ管理アプリケーションのヘルプ	ログを表示する機能、ログを取得する機能、および保守情報を一括で取得する機能について説明しています。

名称	概要
監視ツールのヘルプ	ArcSuiteのコンポーネントにアクセスしているユーザー、データベースの状態、およびセッションの状態を監視する機能について説明しています。
ドキュメントスペースドキュメント操作URLリファレンスガイド	ドキュメントスペースの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
オンラインバックアップ・リストア運用ガイド	オンラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作について説明しています。
e-文書法対応 概要説明書	e-文書法対応の概要および原本性保証オプションの機能について説明しています。
コラボスペース管理アプリケーションのヘルプ	コラボスペースのメールの設定、ログの設定、およびタスクやメッセージの用語をカスタマイズする設定について説明しています。
ワークフロー管理アプリケーションのヘルプ	ワークフロー定義または起動テンプレートの作成者および公開者の設定、ログの設定、外部コマンドの設定について説明しています。
キャプチャリング管理アプリケーションのヘルプ	キャプチャリングサービスの監視キューに対する操作について説明しています。
統合検索サービス管理アプリケーションのヘルプ (本書)	統合検索サービスのリソースの設定、収集スケジュールの設定、およびシステム環境の設定について説明しています。
コラボスペースタスク操作URLリファレンスガイド	コラボスペースの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
ワークフロー操作URLリファレンスガイド	ワークフローの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
Webサービスインターフェイスリファレンスガイド	ArcSuiteの機能にSOAPを使用して接続するAPIについて説明しています。
ドキュメント管理サービスSDKリファレンスガイド	ドキュメント管理サービスのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。
コラボスペースInterface Toolkitリファレンスガイド	コラボスペースのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。
ワークフロー Interface Toolkitリファレンスガイド	ワークフローのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。

■ クライアントユーザー向け

名称	概要
ポータル画面のヘルプ	ポータル画面で、お気に入りの編集、ユーザープロフィールを変更する操作について説明しています。 Webブラウザの操作画面にある [ヘルプ] から参照してください。
アドレス帳のヘルプ	アドレス帳で、ユーザー、グループ、ユーザーロール、およびタスクを検索する操作について説明しています。
ドキュメントスペースのヘルプ	ドキュメントスペースで、登録、属性の変更、検索などのドキュメントを管理する機能の操作について説明しています。
表示アプリケーションのヘルプ	表示アプリケーションで、ブラウザーイメージ変換された画像を編集する操作、およびユーザー設定について説明しています。
検索条件式のヘルプ	ドキュメントスペースの詳細検索で、全文検索または属性検索の条件式をXMLで指定するときの記述方法について説明しています。

名称	概要
簡易操作のヘルプ	簡易操作画面でドキュメントを管理する機能の操作、および操作画面の設定方法について説明しています。
コラボスペースのヘルプ	コラボスペースで、タスクの作成、メッセージの登録、および検索などの操作について説明しています。
ワークフローのヘルプ	ワークフローで、ワークフロー定義の作成、公開および起動する操作、作業を実行する操作について説明しています。
ドキュメント一括操作ツール説明書	Microsoft Excelを使って、ドキュメント管理サービスのオブジェクトを処理する操作について説明しています。
デスクトップクライアント セットアップガイド	デスクトップクライアントのセットアップ方法について説明しています。
デスクトップクライアント 操作説明書	デスクトップクライアントで、ドキュメント管理サービスのフォルダーやドキュメントにアクセスする操作方法について説明しています。
連携フォルダ for DocuWorks セットアップガイド	連携フォルダ for DocuWorksのセットアップ方法について説明しています。
連携フォルダ for DocuWorksの ヘルプ (*1)	DocuWorks Deskで、ArcSuiteに登録されているドキュメントを操作する方法について説明しています。

* 1: 連携フォルダ for DocuWorks をインストールした DocuWorks Desk のヘルプから参照してください。

本書の使い方

本書は、統合検索サービス管理アプリケーションの基本的な使い方について説明しています。

■ 本書の構成

本書は、次の章から構成されています。

[1 統合検索サービス管理アプリケーションとは](#)

統合検索サービスの概要について説明しています。

[2 統合検索サービス管理アプリケーションを起動、終了する](#)

統合検索サービスの管理方法について説明しています。

■ 本書の表記

・ 本書では、次の記号を使用しています。

< > キー	キーボードのキーを表します。 例：<Enter>キーを押します。
[]	画面に表示されるメニュー、ボタン、項目を表します。 例：[新規作成] をクリックします。
[]	同一マニュアル内の参照箇所を表します。 また、強調する用語やメッセージも表します。 例：「1 概要」 「名前が指定されていません。」と表示されます。
[]	参照するマニュアルの名前を表します。 例：『システム管理者ガイド』
{ }	ユーザー名やサーバー名など、操作時に変わる値を表します。 例：[{ユーザー名}] をクリックします。
>	メニューやWebページの階層を表します。 例：[システムとセキュリティ] > [管理ツール]
注記	一般的な注意事項を表します。
補足	機能や操作に関する補足説明を表します。
参照	参照する事項があることを表します。
_____	参照先タイトルやページへのリンクがあることを表します。 例： 「1 概要」 (P.6)

- ・ Microsoft Windows Operating System を「Windows」と表記しています。
- ・ パーソナルコンピュータを「PC」と表記しています。
- ・ お使いの環境によって、マニュアルに記載の画面と実際の画面が異なることがあります。

目次

1	統合検索サービス管理アプリケーションとは	
1.1	統合検索サービスとは	10
1.2	ドキュメントカテゴリーとは	11
	外部ドキュメント	11
	動的外部ドキュメント	11
1.3	収集スケジュールについて	13
	フォルダ収集モード	13
	一括収集モード	13
1.4	管理者について	14
2	統合検索サービス管理アプリケーションを起動、終了する	
2.1	管理アプリケーションを起動する	16
2.1.1	統合検索サービス管理アプリケーションを起動する手順	16
2.2	管理メニューを選択する	17
2.3	リソースを管理する	18
2.3.1	[リソース一覧] 画面の構成	18
2.3.2	リソースを管理する手順	18
2.4	リソースを新規に作成する	20
2.4.1	[リソース設定] ページ (追加モード) の構成	20
2.4.2	リソースを新規に作成する手順	21
2.4.3	ドキュメントの登録先を設定する	22
	[登録先選択] ページの構成	22
	ドキュメントの登録先を設定する手順	22
2.4.4	ドキュメントを収集するストレージプロキシを選択する	22
	[ストレージプロキシ/プラグインの選択] ページの構成	22
	ドキュメントを収集するストレージプロキシを選択する手順	22
2.4.5	収集スケジュールを設定する	23
	[スケジュール設定] ページの構成	23
	収集スケジュールを設定する手順	23
2.4.6	フォーマットを設定する	23
	[フォーマット設定] ページの構成	23
	フォーマットを設定する手順	24
2.4.7	属性マッピングを設定する	25
	[属性マッピング設定] ページの構成	25
	属性マッピングを設定する手順	25
2.5	既存のリソースを再利用して新規に作成する	26
2.5.1	[リソース設定] ページ (追加モード) の構成	26
2.5.2	既存のリソースを再利用して新規に作成する手順	27
2.6	リソースの情報を確認/編集する	28
2.6.1	[リソース設定] ページ (表示モード) の構成	28
2.6.2	リソースの情報を確認/編集する手順	29
2.7	ストレージプロキシを設定する	30
2.7.1	[ストレージ情報] ページの構成	30
2.7.2	ストレージプロキシを設定する手順	30
2.7.3	収集/除外するコンテナを設定する	31
	[コンテナ構成情報] ページの構成	31
	収集/除外するコンテナを設定する手順	31

2.7.4	文書タイプを編集する	32
	[文書タイプの編集] ページの構成	32
	文書タイプを編集する手順	32
2.8	収集状況を確認する	33
2.8.1	[収集状況] 画面の構成.....	33
2.8.2	収集状況を確認する手順.....	33
2.9	収集履歴を確認する	36
2.9.1	[収集履歴] 画面の構成.....	36
2.9.2	収集履歴を確認する手順.....	36
2.10	システム設定を行う	38
2.10.1	[システム設定] 画面の構成	38
2.10.2	システム設定を行う手順.....	38
2.11	システム設定データを設定する	39
2.11.1	システム設定データ	39
2.12	動的外部ドキュメントのプライマリコンテンツを削除する.....	41
2.12.1	統合検索サービスで全文検索サービスを利用する場合の手順	41
2.12.2	統合検索サービスで全文検索サービスを利用しない場合の手順.....	42
2.13	アカウントログについて	43
	格納先.....	43
	アカウントログに記録される情報	43
2.14	管理アプリケーションを終了する	45
	管理アプリケーションを終了する手順.....	45

1 統合検索サービス管理アプリケーション とは

統合検索管理アプリケーションとは、統合検索サービスで利用するリソースや設定を管理したり、収集状況などを確認するためのWebアプリケーションです。収集対象となるリソースを作成し、収集を開始することができます。

1.1 統合検索サービスとは

コンピューターシステムを利用している多くの企業では、ネットワーク上のストレージで文書を管理しています。このような文書の登録／更新／削除を「ドキュメント管理サービス」に継続的に反映する機能が提供されています。この機能を提供するサービスを、「統合検索サービス」と呼びます。

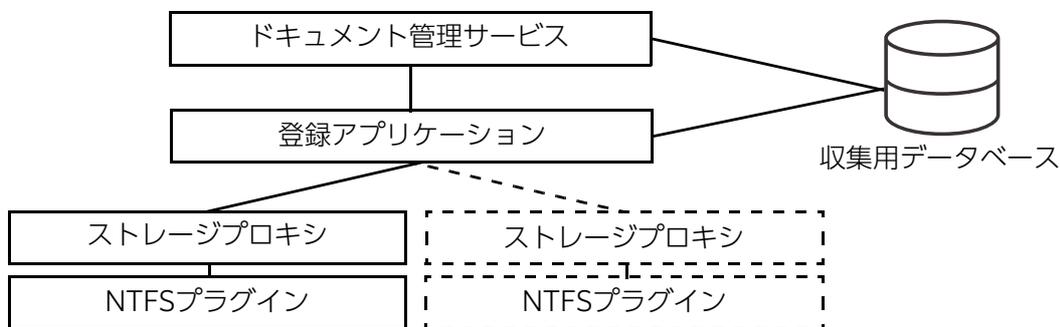
この機能によってArcSuite以外のストレージで管理されている文書を、ArcSuiteで管理されている文書と同様に全文検索や属性検索の対象とすることができます。

「統合検索サービス」は、条件に合った文書を収集して「ドキュメント管理サービス」に登録する機能を提供します。

登録アプリケーションによって、ネットワーク上から条件にあった文書の登録／更新／削除のイベントが検出されます。イベントが検出された文書が、「ドキュメント管理サービス」に登録されます。

「統合検索サービス」には、次のコンポーネントが含まれています。これらのコンポーネントの設定には、Webベースの管理アプリケーションを使います。

- ・登録アプリケーション
- ・ストレージプロキシ



図：統合検索サービスの構成

統合検索サービスでは、検出された文書を「動的な外部ドキュメント」または「外部ドキュメント」のどちらかの登録形式で「ドキュメント管理サービス」に登録できます。

「動的な外部ドキュメント」として登録すると、ドキュメントスペースからドキュメントを参照するときや印刷するときに、リアルタイムにストレージ上の最新のドキュメントが参照されます。

「外部ドキュメント」として登録すると、定期的に行われる登録アプリケーションのイベント検出によって最後に登録されたドキュメントが参照されます。

サポートされているデータの検索先（ストレージ）は、次のとおりです。

- ・NTFS（Windows NT ファイルシステム）

1.2 ドキュメントカテゴリとは

統合検索サービスでは「外部ドキュメント」と「動的外部ドキュメント」という2つのカテゴリのドキュメントを使用します。ここでは、それらの違いについて説明します。

外部ドキュメント

「外部ドキュメント」は、統合検索専用のドキュメントですが、機能はほかのドキュメントと同等です。

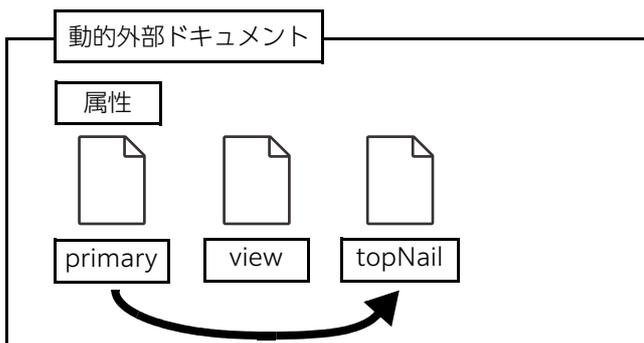
動的外部ドキュメント

「動的外部ドキュメント」は、「外部ドキュメント」と比較して次の特徴を持っています。

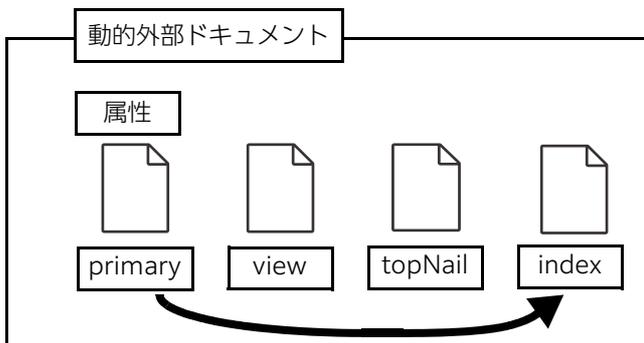
- ・一定の条件を満たしたドキュメントのプライマリーコンテンツを削除して、ディスクスペースの節約ができる
- ・ドキュメントを取り出すときに収集元の最新のドキュメントを取得できる

次に、動的外部ドキュメント処理の流れを示します。

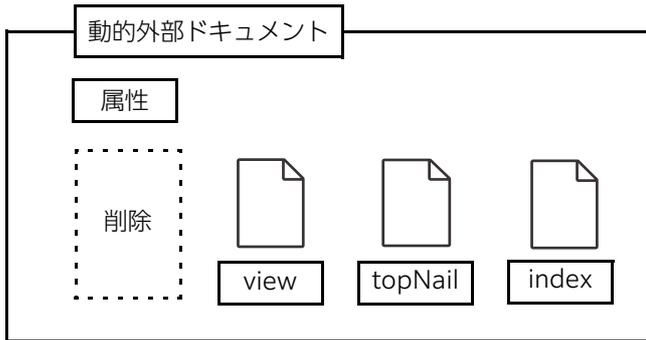
1. 統合検索で収集したドキュメントがドキュメント管理サービスに動的外部ドキュメントとして登録されます。このとき登録パラメーターにしたがってセカンダリーコンテンツが作成されます。全文検索対象外のファイルタイプ（画像ファイル等）はこの時点でプライマリーコンテンツが削除できます。このときのドキュメントの状態を次に示します。



2. 全文検索対象のドキュメントは、ドキュメント管理サービス管理ツールを使ってプライマリーコンテンツから全文検索インデックスを生成します。全文検索対象のドキュメントは、この時点でプライマリーコンテンツを削除できます。このときのドキュメントの状態を次に示します。



3. プライマリーコンテンツが削除できるドキュメントのプライマリーコンテンツをドキュメント管理サービス管理ツールを使って削除します。



上記のように、動的外部ドキュメントは、登録時には外部ドキュメントと同様に、属性、プライマリーコンテンツ、および作成指定されたセカンダリーコンテンツが登録されます。

しかし、プライマリーコンテンツが内部的に不要となった場合は、プライマリーコンテンツを削除できます。外部からの要求で必要になった場合は、最新のドキュメントを自動的に取得することでディスクスペースを低減できるとともに、最新のドキュメントを参照できます。

1.3 収集スケジュールについて

統合検索サービスでは、リソースごとに収集のスケジュールを設定できます。

収集スケジュールは、30分単位のブロックで設定できます。

設定できるスケジュールとその動作を次に示します。

表：収集スケジュール

スケジュール	動作	設定パラメータ
通常負荷収集	フォルダ収集モード	イベント検出の間隔：通常負荷待ち時間
低負荷収集	フォルダ収集モード	イベント検出の間隔：低負荷待ち時間
超低負荷収集	フォルダ収集モード	イベント検出の間隔：超負荷待ち時間
一括収集	一括収集モード	なし
収集待機	イベント検出は行わない	スケジュールチェック間隔：収集待機時待ち時間

フォルダ収集モード

フォルダ収集とは、フォルダ単位でリソース内のドキュメントのイベント検出を行います。

フォルダ収集モードは、リソースのスケジュールが「通常負荷収集」、「低負荷収集」、「超低負荷収集」のときに実行されます。

一つのフォルダのイベント検出が完了したら、次のフォルダのイベント検出を行うまでに、スケジュールの負荷設定（それぞれシステム設定データの「通常負荷待ち時間」、「低負荷待ち時間」、「超低負荷待ち時間」）の間隔をあけてイベント検出を再開します。

一括収集モード

一括収集とは、リソース内のすべてのドキュメントのイベント検出を一括して行います。

一括収集モードは、リソースのスケジュールが「一括収集」のときに実行されます。

一括収集がスケジュール設定の最小単位（30分）以内にその処理を完了した場合、次のスケジュールまでは「収集待機中」として動作します。また、一括収集が開始されると、その処理が完了するまで、収集スケジュールは無視されます。

1.4 管理者について

統合検索サービス管理アプリケーションにおける管理者の役割や設定方法は、次のとおりです。

コンポーネント	名称	役割	設定方法
ArcSuite共通	RMS管理者	ArcSuiteシステムのユーザー、ロール、およびコンポーネントなどのリソースを管理します。	ArcSuiteを設置するときにメインインストーラーで設定します。
ドキュメント管理サービス	キャビネット管理者	キャビネットの管理者権限を持ち、キャビネットの設定変更やドロワーの作成などを行います。	ドキュメント管理サービス管理ツールのコマンド実行により設定します。
統合検索サービス	コンポーネント管理者	統合検索サービスやリソースを管理する権限を持つユーザーです。リソースの設定や収集履歴の確認ができます。	設置時に自動的に割り当てられます。設置後にリソース管理アプリケーションで変更または追加できます。
	ストレージプロキシ管理者	ストレージプロキシを管理する権限を持つユーザーです。リソースの収集位置や登録できる文書タイプなどを設定できます。基本的にコンポーネント管理者と同じユーザーを設定します。	設置時に自動的に割り当てられます。設置後にリソース管理アプリケーションで変更または追加できます。

2 統合検索サービス管理アプリケーション を起動、終了する

統合検索サービスの管理方法について説明します。

2.1 管理アプリケーションを起動する

統合検索サービス管理アプリケーションでは、次の管理操作ができます。

- ・リソースの設定
- ・収集状況の確認
- ・収集履歴の確認
- ・システム設定

2.1.1 統合検索サービス管理アプリケーションを起動する手順

1. [ポータル] 画面の [システム管理] リンクをクリックします。
[システム管理] 画面が表示されます。
2. [システム管理] 画面の左側にある [システム管理] から、[統合検索サービス] をクリックします。
画面の右側に、統合検索サービスの情報が表示されます。
3. 管理アプリケーションのリンクをクリックします。
[管理ログイン] 画面が表示されます。
4. 管理者権限を持つユーザーの [ユーザー ID] と [パスワード] を入力します。
5. [ログイン] をクリックします。
ログインに成功すると、統合検索サービスの管理画面が表示されます。

2.2 管理メニューを選択する

メニューにある各項目をクリックして管理メニューを選択します。



図：メニュー

メニューの各項目について説明します。

項目	説明
[リソース一覧]	<p>クリックすると、[リソース一覧] 画面が表示されます。 リソースの新規作成／確認／編集／削除、および収集処理の開始／停止／再収集ができます。</p> <p>参照 [リソース一覧] 画面の詳細については、[2.3 リソースを管理する] (P.18) を参照してください。</p>
[収集状況]	<p>クリックすると、[収集状況] 画面が表示されます。 リソースごとの収集状況や文書ごとの収集状況などを検索して、現在の収集状況を確認できます。</p> <p>参照 [収集状況] 画面の詳細については、[2.8 収集状況を確認する] (P.33) を参照してください。</p>
[収集履歴]	<p>クリックすると、[収集履歴] 画面が表示されます。 リソース・日付ごと、日付・リソースごと、文書ごとの収集履歴を検索して、過去の収集の履歴情報を確認できます。</p> <p>参照 [収集履歴] 画面の詳細については、[2.9 収集履歴を確認する] (P.36) を参照してください。</p>
[システム設定]	<p>クリックすると、[システム設定] 画面が表示されます。 統合検索サービスの動作の、各種情報を設定できます。</p> <p>参照 [システム設定] 画面の詳細については、[2.10 システム設定を行う] (P.38) を参照してください。</p>

2.3 リソースを管理する

ここでは、リソースを管理する手順を説明します。

リソースの新規作成／確認／編集／削除、および収集処理の開始／停止／再収集ができます。

2.3.1 [リソース一覧] 画面の構成

メニューから [リソース一覧] を選択します。

[リソース一覧] ページが表示されます。

リソースID	リソース名▲	状態	稼働状況	登録先サービス	登録先キャビネット	登録先ドロワー	ストレージプロキシ	プラグイン
1	リソース1	停止	収集待機		toujoucab1	ドロワー1	http://	NTFS
2	リソース2	停止	収集待機		toujoucab1	ドロワー1	http://	NTFS
3	リソース3	停止	収集待機		toujoucab1	ドロワー1	http://	NTFS

図：[リソース一覧] 画面

2.3.2 リソースを管理する手順

1. [リソース一覧] 画面で、操作対象のリソースのチェックボックスにチェックマークを付けます。

補足 リソースを新規に作成する場合は、選択する必要はありません。

2. [操作] プルダウンメニューから、次のいずれかを選択します。

- ・ [表示]

リソースの情報を確認／編集します。

選択すると、[リソース設定] ページ (表示モード) が表示されます。編集する場合は、[リソース設定] ページ (表示モード) の [編集] をクリックします。

参照 詳細については、[\[2.6 リソースの情報を確認／編集する\] \(P.28\)](#) を参照してください。

- ・ [追加]

リソースを新規に作成します。

選択すると、[リソース設定] ページ (追加モード) が表示されます。

参照 詳細については、[\[2.4 リソースを新規に作成する\] \(P.20\)](#) を参照してください。

- ・ [再利用して追加]

既存のリソースを再利用して、リソースを新規に作成します。

選択すると、[リソース設定] ページ (追加モード) が表示されます。

参照 詳細については、[\[2.5 既存のリソースを再利用して新規に作成する\] \(P.26\)](#) を参照してください。

- ・ [収集開始]

選択されたリソースの文書収集および登録作業が始まります。

[停止] 状態のリソースが、[収集中] 状態になります。

- ・ [停止]

収集処理を停止します。

[収集中]、[再収集準備中]、[再収集中] の状態のリソースが、[停止準備中] 状態になります。

- ・ [再収集]

実行を確認するダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックすると、選択されたリソースの文書の再収集および再登録作業が始まります。

[停止] 状態のリソースが、[再収集準備中] 状態になります。

・ [削除]

実行を確認するダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックすると、リソースが削除されます。

削除できるのは、[停止] 状態のリソースだけです。選択できるリソースは一つです。

注記 動的外部ドキュメントの収集を行っていたリソースを削除すると、登録済みの動的外部ドキュメントの参照がエラーとなります。

リソース削除後もドキュメントの参照が必要な場合は、外部ドキュメントとして登録してください。

補足

- ・ [停止]、[収集開始]、[再収集] は、複数のリソースを選択しても処理できます。
- ・ [更新] をクリックすると、リソースの一覧が更新されます。
- ・ 旧バージョン時に利用可能だった、EDMICS/Docushare のリソースを削除する場合、新しいウィンドウで表示されるストレージプロキシ管理ツールの画面でエラーが発生しますが、ストレージ情報の削除に失敗してもリソース設定は削除されています。

2.4 リソースを新規に作成する

ここでは、リソースを新規に作成する手順を説明します。

2.4.1 [リソース設定] ページ (追加モード) の構成

[リソース設定] ページで、[操作] プルダウンメニューから [追加] を選択すると、[リソース設定] ページ (追加モード) が表示されます。

🔗 リソース設定(追加)

リソース名:

登録先サービスID: 

登録先キャビネットID:

登録先ドロー名:

ストレージプロキシ: 

プラグイン:

デフォルト登録オブジェクトカテゴリ: 外部ドキュメント 動的外部ドキュメント

登録者: 

スケジュール: 

曜日	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日																								
月																								
火																								
水																								
木																								
金																								
土																								

■ 超低負荷収集
 ■ 低負荷収集
 ■ 通常負荷収集
 ■ 一括収集

フォーマット設定:  

属性マッピング:  

図：[リソース設定] ページ (追加モード)

2.4.2 リソースを新規に作成する手順

1. [リソース設定] ページ (追加モード) で、次の項目を設定します。

- ・ [リソース名]

リソースの名称を入力します。必須の入力項目です。
全角、半角ともに最大 64 文字入力できます。

注記 値が未入力、または全角半角スペースだけの場合は設定できません。

- ・ [登録先サービス ID]、[登録先キャビネット ID]、[登録先ドロワー名]

収集したドキュメントの登録先を設定します。

 ([編集] アイコン) をクリックして、表示される [登録先選択] ページで設定してください。
必須の設定項目です。

参照 詳細については、[\[2.4.3 ドキュメントの登録先を設定する\] \(P.22\)](#) を参照してください。

- ・ [ストレージプロキシ]、[プラグイン]

ドキュメントを収集するストレージプロキシを設定します。

 ([編集] アイコン) をクリックして、表示される [ストレージプロキシ/プラグインの選択] ページで設定してください。
必須の設定項目です。

参照 詳細については、[\[2.4.4 ドキュメントを収集するストレージプロキシを選択する\] \(P.22\)](#) を参照してください。

- ・ [デフォルト登録オブジェクトカテゴリ]

登録するドキュメントのオブジェクトカテゴリを選択します。

- [外部ドキュメント]
- [動的外部ドキュメント]

この設定は、フォーマット設定で登録オブジェクトカテゴリが設定されていない MIME-TYPE のオブジェクトについてだけ有効となります。
必須の設定項目です。

- ・ [登録者]

収集したドキュメントをドキュメント管理サービスに登録するときにドキュメントの作成者とするユーザーを指定します。

[編集] アイコンをクリックして、表示される [アドレス帳] ページで設定してください。
必須の設定項目です。

参照 詳細については、『アドレス帳のヘルプ』を参照してください。

- ・ [スケジュール]

リソースが [収集中] 状態のときの収集スケジュールを設定します。

 ([編集] アイコン) をクリックして、表示される [スケジュール設定] ページで設定してください。

参照 詳細については、[\[2.4.5 収集スケジュールを設定する\] \(P.23\)](#) を参照してください。

- ・ [フォーマット設定]

ドキュメントのフォーマットごとに、登録オブジェクトカテゴリ、作成するセカンダリーコンテンツを設定します。

 ([編集] アイコン) をクリックして、表示される [フォーマット設定] ページで設定してください。

参照 詳細については、[\[2.4.6 フォーマットを設定する\] \(P.23\)](#) を参照してください。

- ・ [属性マッピング]

ドキュメント登録時に収集したドキュメントの属性をドキュメント管理サービスのどの属性に割り当てて登録するかを設定します。

 ([編集] アイコン) をクリックして、表示される [属性マッピング設定] ページで設定してください。

参照 詳細については、[\[2.4.7 属性マッピングを設定する\] \(P.25\)](#) を参照してください。

2. [設定] をクリックします。

リソースが登録され、[リソース設定] ページ (表示モード) が表示されます。同時に別ウィンドウが開き、ストレージプロキシ管理ツールの [ストレージ情報] ページを表示するためのログイン画面が表示されます。

2.4.3 ドキュメントの登録先を設定する

ここでは、収集したドキュメントの登録先を設定する手順を説明します。

[登録先選択] ページの構成

[リソース設定] ページ (追加モード) で、[登録先サービスID] の [編集] アイコンをクリックすると、[登録先選択] ページが表示されます。

補足 リソース管理サービスに登録されているドキュメント管理サービスで、その中に存在する統合検索キャビネットのすべてのドロワーの一覧が表示されます。メンテナンス状態のキャビネットやドロワーがないキャビネットは表示されません。

ドキュメントの登録先を設定する手順

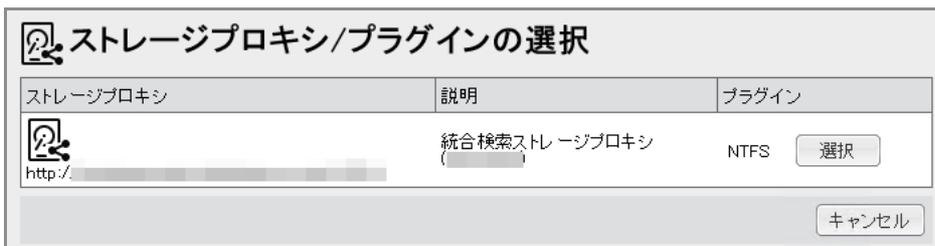
1. 収集したドキュメントの登録先の [選択] をクリックします。
登録先が設定され、[リソース設定] ページに戻ります。

2.4.4 ドキュメントを収集するストレージプロキシを選択する

ここでは、ドキュメントを収集するストレージプロキシを選択してリソースに登録する手順を説明します。

[ストレージプロキシ/プラグインの選択] ページの構成

[リソース設定] ページ (追加モード) で、[ストレージプロキシ] の [編集] アイコンをクリックすると、[ストレージプロキシ/プラグインの選択] ページが表示されます。



図：[ストレージプロキシ/プラグインの選択] ページ

補足 リソース管理サービスに登録されているストレージプロキシがプラグインと共に一覧として表示されます。対象となるストレージプロキシが存在しない場合は、一覧には表示されません。

ドキュメントを収集するストレージプロキシを選択する手順

1. ドキュメントを収集するストレージプロキシの [選択] をクリックします。
ストレージプロキシが設定され、[リソース設定] ページに戻ります。

2.4.5 収集スケジュールを設定する

ここでは、リソースが [収集中] 状態のときの収集スケジュールを設定する手順を説明します。

[スケジュール設定] ページの構成

[リソース設定] ページ (追加モード) で、[スケジュール] の [編集] アイコンをクリックすると、[スケジュール設定] ページが表示されます。

補足 一度に設定できるのはスケジュールの一部だけです。この画面での設定は、[リソース設定] ページで保持されるスケジュールに上書きされます。

収集スケジュールを設定する手順

1. 次の項目を設定します。

- ・ [曜日]
文書を収集する曜日を選択します。複数選択できます。すべての曜日を選択する場合は [全て] をクリックします。

注記 最低ひとつ選択する必要があります。

- ・ [時間] プルダウンメニュー
文書を収集する時間の範囲を選択します。
開始時刻は、00 時 00 分から 23 時 30 分までの範囲で、30 分刻みに設定できます。
また収集する期間は、開始時間を 00 時間として 24 時間まで設定できます。

注記 日付をまたがった期間の指定はできません。

- ・ [動作] プルダウンメニュー
デフォルトは [通常負荷収集] です。

2. [追加] をクリックします。

設定した収集スケジュールが [リソース設定] ページのスケジュール設定に上書きされます。

3. [閉じる] をクリックします。

[リソース設定] ページに戻ります。

2.4.6 フォーマットを設定する

ここでは、ドキュメントのフォーマットごとに、登録オブジェクトカテゴリ、作成するセカンダリーコンテンツを指定する手順を説明します。

[フォーマット設定] ページの構成

[リソース設定] ページ (追加モード) で、[フォーマット設定] の [編集] アイコンをクリックすると、[フォーマット設定] ページが表示されます。

図：[フォーマット設定] ページ

フォーマットを設定する手順

1. 次の項目を設定します。

- ・ [MIME-TYPE] プルダウンメニュー
設定するフォーマットの MIME-TYPE を選択します。ArcSuite で対象とするフォーマットです。
- ・ [登録オブジェクトカテゴリ] ラジオボタン
登録するドキュメントのオブジェクトカテゴリを設定します。
デフォルトは [外部ドキュメント] です。
- ・ ドキュメント情報更新
作成するセカンダリーコンテンツの種別に合わせて、チェックボックスにチェックマークを付けます。

2. [追加] をクリックします。

フォーマット設定が [リソース設定] ページに設定されます。

注記 [リソース設定] ページにすでに登録されている MIME-TYPE だった場合は、設定した内容で上書きされます。

3. [閉じる] をクリックします。

[リソース設定] ページに戻ります。

注記 動的外部ドキュメントは、属性やコンテンツの取得時にオリジナルドキュメントの更新をチェックします。オリジナルが更新されている場合、そのドキュメントの更新処理が行われたあとにクライアントに結果を返します。このときセカンダリーコンテンツの生成が指定されているとその生成も行われるため、クライアントに結果が返るのに非常に時間がかかる場合があります。
そのため、動的外部ドキュメントとして統合検索キャビネットに登録するフォーマットについては、ドキュメント情報の更新をしない設定にすることを推奨します。
ドキュメント情報の更新を指定する場合は、統合検索のシステム設定で「1 リソース登録クライアント最大数」を 1 に設定にしてください。

2.4.7 属性マッピングを設定する

ここでは、収集したドキュメントの属性と登録するドキュメントの属性のマッピング情報を設定する手順を説明します。

[属性マッピング設定] ページの構成

[リソース設定] ページ（追加モード）で、[属性マッピング] の [編集] アイコンをクリックすると、[属性マッピング設定] ページが表示されます。

図：[属性マッピング設定] ページ

属性マッピングを設定する手順

1. [属性マッピング設定] ページで、次の項目を設定します。

- ・ [マッピング元属性名]
収集したドキュメントの属性名を入力します。
必須の入力項目です。
全角なら最大 64 文字、半角なら最大 256 文字入力できます。
- ・ [属性値変換パターン]
属性値を変換するパターンを入力します。
マッピング元属性の値を {0} で表現します。
例：属性値変換パターンを次のように指定
version={0}
マッピング元属性名の値が 1.0.0 であれば、マッピング先属性名の属性に「version=1.0.0」として登録されます。

属性値はこのパターンで変換して登録されます。
全角なら最大 64 文字、半角なら最大 256 文字入力できます。
- ・ [マッピング先属性名] プルダウンメニュー
登録するドキュメントの属性名を選択します。
必須の選択項目です。

2. [設定] をクリックします。

マッピング元属性名、マッピング先属性名がチェックされます。
問題がなければ、属性マッピングが [リソース設定] ページに設定されます。

注記 [リソース設定] ページにすでに登録されているマッピング元属性名だった場合は、設定された内容で上書きされます。

3. [閉じる] をクリックします。

[リソース設定] ページに戻ります。

2.5 既存のリソースを再利用して新規に作成する

ここでは、既存のリソースの設定を再利用して、リソースを新規に作成する手順を説明します。[ストレージプロキシ]、[プラグイン] 情報を除いて同じ値がデフォルト値として設定されています。[ストレージプロキシ]、[プラグイン] 情報だけ空白です。同じような設定のリソースを複数作成するときに行います。

2.5.1 [リソース設定] ページ (追加モード) の構成

[リソース一覧] 画面で、[操作] プルダウンメニューから [再利用して追加] を選択すると、[リソース設定] ページ (追加モード) が表示されます。

🔍 リソース設定(追加)

リソース名:

登録先サービスID: 

登録先キャビネットID:

登録先ドロー名:

ストレージプロキシ: 

プラグイン:

デフォルト登録オブジェクトカテゴリ: 外部ドキュメント 動的外部ドキュメント

登録者: 

スケジュール: 

曜日	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日																								
月																								
火																								
水																								
木																								
金																								
土																								

■ 超低負荷収集
 ■ 低負荷収集
 ■ 通常負荷収集
 ■ 一括収集

フォーマット設定:  

属性マッピング:  

図：[リソース設定] ページ (追加モード)

2.5.2 既存のリソースを再利用して新規に作成する手順

1. [リソース設定] ページ (追加モード) で、各項目を設定します。

参照 設定項目の詳細については、[\[2.4 リソースを新規に作成する\] \(P.20\)](#) の該当項目を参照してください。

2. [設定] をクリックします。

リソースが登録され、[リソース設定] ページ (表示モード) が表示されます。同時に別ウィンドウが開き、ストレージプロキシ管理ツールの [ストレージ情報] ページを表示するためのログイン画面が表示されます。

2.6 リソースの情報を確認／編集する

ここでは、リソースの情報を確認して、必要に応じて編集する手順を説明します。

2.6.1 [リソース設定] ページ (表示モード) の構成

[リソース一覧] 画面で、[操作] プルダウンメニューから [表示] を選択すると、[リソース設定] ページ (表示モード) が表示されます。

🔍 リソース設定 (表示)

リソース名:

登録先サービスID:

登録先キャビネットID:

登録先ドロー名:

ストレージプロキシ:

プラグイン:

デフォルト登録オブジェクトカテゴリ: 外部ドキュメント 動的外部ドキュメント

登録者:

スケジュール:

曜日	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日																								
月																								
火																								
水																								
木																								
金																								
土																								

超低負荷収集
 低負荷収集
 通常負荷収集
 一括収集

フォーマット設定:

属性マッピング:

図：[リソース設定] ページ (表示モード)

2.6.2 リソースの情報を確認／編集する手順

1. [リソース設定] ページで、各項目を確認します。

参照 確認項目の詳細については、[\[2.4 リソースを新規に作成する\] \(P.20\)](#) の該当項目を参照してください。

2. ストレージ情報を確認／編集する場合は、[ストレージプロキシ管理ツールへ] をクリックして、確認／編集します。

[リソース設定] ページ (表示モード) に表示されているリソースの種類に応じて、表示される画面が異なります。

NTFS リソースの場合は、NTFS プラグインの [ストレージ情報] ページが表示されます。

補足 新しいウィンドウで初めてストレージプロキシにアクセスする場合は、ログイン画面が表示されます。ストレージプロキシ管理ユーザーでログインしてください。

参照 ストレージ情報を確認／編集する操作の詳細については、[\[2.7 ストレージプロキシを設定する\] \(P.30\)](#) を参照してください。

3. リソースの情報を編集する場合は、[編集] をクリックします。

[リソース設定] ページ (追加モード) が表示されます。

注記 リソースが [停止] または [停止準備中] の場合だけ編集できます。[停止] または [停止準備中] 以外の場合は、ダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックすると、リソースの状態が [停止準備中] になり、[停止] になるとリソース設定が更新できるようになります。

4. 各項目を編集します。

参照 設定項目の詳細については、[\[2.4 リソースを新規に作成する\] \(P.20\)](#) の該当項目を参照してください。

5. [設定] をクリックします。

次のチェックが行われます。

- ・リソース設定がほかのユーザーから更新されていないかどうかのチェック
- ・リソース状態のチェック

問題がなければ、リソースが登録され、[リソース設定] ページ (表示モード) が表示されます。

注記

- ・ほかのユーザーからリソースが更新されていた場合
メッセージが表示され、リソースの編集内容は設定されずに [リソース設定] ページ (表示モード) に戻ります。
- ・リソース状態のチェックで状態が [停止準備中] だった場合
[停止準備中] は設定できません。しばらく待ってから、再度 [設定] をクリックしてください。

2.7 ストレージプロキシを設定する

ここでは、ストレージプロキシ管理ツールで、ストレージの情報を設定する手順を説明します。

2.7.1 [ストレージ情報] ページの構成

[リソース設定] ページ (表示モード) で、[ストレージプロキシ管理ツールへ] をクリックすると、[ストレージ情報] ページが表示されます。

2.7.2 ストレージプロキシを設定する手順

1. [ストレージ情報] ページで、次の項目を設定します。

注記 すでに収集済みの文書がある場合に収集位置を変更すると、収集元のフォルダ構成と登録先のフォルダ構成が一致なくなることがあります。この場合は、新たにリソースを作成して登録し直すことをお勧めします。

・ [収集位置]

ストレージ内の収集位置を、ドライブ名からのフルパスで複数指定できます。

[参照] をクリックすると、[コンテナ構成情報] ページが表示され、収集位置にコンテナを追加できます。

注記 ・ 同一コンテナやサブ階層は指定できません。

・ 次の文字は使用できません。

半角文字 / * ? " < > |

・ 一度設定した収集位置を変更して元の収集位置の上位に当たる収集位置に変更した場合、一時的に以前の収集済みフォルダが残ったまま、それとは別に新しく収集位置としたフォルダが収集されることがあります。最終的には正しく反映されますので、しばらくお待ちください。

・ フォルダあたりのドキュメント数が非常に多い場合、フォルダ中のドキュメントリストの取得処理に時間がかかるため、ドキュメントが登録されるまでに長い時間がかかることがあります。できるだけ小分けにして、フォルダに格納してください。

参照 詳細については、[\[2.7.3 収集/除外するコンテナを設定する\] \(P.31\)](#) を参照してください。

・ [収集優先位置]

優先して収集するコンテナを、収集位置全体または収集位置に含まれるサブ階層で、複数指定できます。

[参照] をクリックすると、[コンテナ構成情報] ページが表示され、[収集優先位置] にコンテナを追加できます。

注記 ・ 同一コンテナやサブ階層は指定できません。

・ 次の文字は使用できません。

半角文字 / * ? " < > |

参照 詳細については、[\[2.7.3 収集/除外するコンテナを設定する\] \(P.31\)](#) を参照してください。

・ [登録除外位置]

収集をしないコンテナを、収集位置に含まれるサブ階層で複数指定できます。

[参照] をクリックすると、[コンテナ構成情報] ページが表示され、[登録除外位置] にコンテナを追加できます。

注記 ・ 同一コンテナやサブ階層は指定できません。

・ 次の文字は使用できません。

半角文字 / * ? " < > |

参照 詳細については、[\[2.7.3 収集/除外するコンテナを設定する\] \(P.31\)](#) を参照してください。

・ [登録除外名称パターン]

収集をしないコンテンツおよびコンテナの名称を指定します。

補足 ・ ワイルドカード (「*」半角のアスタリスク) を、前方一致で使用できます。

・ 名称は、改行で複数指定できます。

参照 詳細については、[\[2.7.3 収集／除外するコンテナを設定する\] \(P.31\)](#) を参照してください。

- ・ [登録文書ファイルタイプ]
収集する文書のファイルタイプを複数指定します。
[追加] をクリックすると、[追加可能なタイプ] から選択したファイルタイプを [登録対象とするタイプ] に追加できます。
[削除] をクリックすると、[登録対象とするタイプ] で選択したファイルタイプが削除されます。

補足 ・ [登録文書ファイルタイプ] は、必須の入力項目です。
・ 表示される最大文字数は、50 文字です。

- ・ [登録ファイル最大サイズ]
登録するファイルの最大サイズをバイト単位で指定します。

補足 ・ 最大サイズ以上の容量のファイルは登録されません。
・ 18 桁以下の数字で指定できます。

- ・ [収集負荷] プルダウンメニュー
すべてのリストを取得したときの収集負荷を選択します。

2. 文書タイプを編集する場合は、[文書タイプの編集] をクリックすると表示される [文書タイプの編集] ページで編集します。

参照 詳細については、[\[2.7.4 文書タイプを編集する\] \(P.32\)](#) を参照してください。

3. [設定] をクリックします。

実行を確認するダイアログボックスが表示されます。
[OK] をクリックすると、ストレージ情報が設定されます。

2.7.3 収集／除外するコンテナを設定する

ここでは、[収集位置]、[収集優先位置]、[登録除外位置]、[登録除外名称パターン] を設定する手順を説明します。

[コンテナ構成情報] ページの構成

[ストレージ情報] ページで、[収集位置]、[収集優先位置]、[登録除外位置] の [参照] をクリックするか、[登録除外名称パターン] を設定すると、[コンテナ構成情報] ページが表示されます。

補足 [最新情報更新] をクリックすると、コンテナ構成情報が再読み込みされます。

収集／除外するコンテナを設定する手順

1. 収集するコンテナ、または収集の対象外とするコンテナを選択します。
2. [追加] をクリックします。
実行を確認するダイアログボックスが表示されます。
3. [OK] をクリックします。
選択したコンテナが収集対象または収集対象外に設定されます。

2.7.4 文書タイプを編集する

ここでは、文書タイプの拡張子を編集する手順を説明します。

[文書タイプの編集] ページの構成

[ストレージ情報] ページで、[文書タイプの編集] をクリックすると、[文書タイプの編集] ページが表示されます。

文書タイプを編集する手順

1. [文書タイプの編集] ページで、編集する文書タイプを確認します。

- ・ [MIME タイプ]
文書の MIME タイプが表示されます。
- ・ [拡張子]
拡張子が表示されます。

2. 変更する文書タイプの横の [変更] をクリックします。

[文書タイプの変更] ページが表示されます。

MIMEタイプ	拡張子
image/tiff	tiff tiff

追加 削除

変更 キャンセル

図：[文書タイプの変更] ページ

3. 拡張子を編集します。

- ・ 追加する場合
テキストフィールドに追加する拡張子を入力して、[追加] をクリックします。
- ・ 削除する場合
削除する拡張子を選択して、[削除] をクリックします。

4. [変更] をクリックします。

実行を確認するダイアログボックスが表示されます。

5. [OK] をクリックします。

文書タイプが変更され、[文書タイプの編集] ページに戻ります。

[文書タイプの編集] ページを閉じるには、[戻る] をクリックしてください。

2.8 収集状況を確認する

ここでは、リソースごとや文書ごとに収集状況を検索して、現在の収集状況を確認する手順を説明します。

2.8.1 [収集状況] 画面の構成

メニューから [収集状況] を選択します。
[収集状況] ページが表示されます。

2.8.2 収集状況を確認する手順

1. 検索条件として、次の項目を設定します。

注記 複数の検索条件で収集状況を検索できます。検索条件はすべて AND で結合されます。

- ・ [リソース] プルダウンメニュー
[全て] および設定されているリソース名の中から、検索するリソース名を選択します。
- ・ [状態] プルダウンメニュー
文書の状態を次のいずれかから選択します。
 - [全て]
全文書の中から検索します。
 - [追加]
追加検出と追加処理中の文書から検索します。
 - [変更]
変更検出と変更処理中の文書から検索します。
 - [削除]
削除検出、削除処理中、削除済みの文書から検索します。
 - [エラー]
エラーの文書から検索します。
- ・ [エラー回数]
エラー回数の下限値を、[0] から [99] の範囲の数値で入力します。
- ・ [文書パス]
文書の文書パスを入力します。
ワイルドカード（[*]半角のアスタリスク）を、前方一致、後方一致、および中間一致検索に使用できます。
半角で 2048 文字数まで入力できます。

注記 統合検索サービスでは、パスセパレーターは '/'（スラッシュ）で統一されています。そのため、表示時は '/' で表示されます。
検索条件の [文書パス] で '\$' が入力された場合、内部では '/' に置き換えて検索するため、検索条件 [文書パス] の入力値にはパスセパレーターとして '\$' を使用できます。
- ・ [文書名]
文書名を入力します。
ワイルドカード（[*]半角のアスタリスク）を、前方一致、後方一致、および中間一致検索に使用できます。
全角で 266 文字、半角で 800 文字数まで入力できます。

2. [リソース別検索] または [文書検索] のどちらかをクリックします。

- ・ [リソース別検索]

クリックすると、検索が実行されます。

検索結果の収集状況は、リソース別に集計されます。収集結果は、リソース名にソートされて [収集状況一覧テーブル] エリアに表示されます。

リソース名	稼働状況	ドキュメント数	前回収集完了日時	待機	追加検出	追加処理中	変更検出	変更処理中	削除検出	削除処理中	削除済み	エラー
リソース	稼働中	2	2021/02/05 17:46:05	2	0	0	0	0	0	0	0	0
リソース	稼働中	2	2021/02/05 17:46:05	2	0	0	0	0	0	0	0	0
リソース	稼働中	2	2021/02/05 17:46:05	2	0	0	0	0	0	0	0	0

図：[リソース別検索] をクリックした場合の [収集状況] 画面

- [リソース名]

リソースの名前が表示されます。

クリックすると、そのリソースの [リソース設定] ページ (表示モード) が表示されます。

- [稼働状況]

リソースの収集負荷状況が表示されます。

補足 [稼働状況] の詳細については、[リソース一覧] 画面を確認してください。

参照 [リソース一覧] 画面については、[\[2.3.1 \[リソース一覧\] 画面の構成\] \(P.18\)](#) を参照してください。

- [ドキュメント数]

検索されたドキュメント数が表示されます。

- [前回 収集完了日時]

このリソースが前回収集を完了した日時が表示されます。

- [待機]

[待機] 状態の文書数が表示されます。

- [追加検出]

[追加検出] 状態の文書数が表示されます。

- [追加処理中]

[追加処理中] 状態の文書数が表示されます。

- [変更検出]

[変更検出] 状態の文書数が表示されます。

- [変更処理中]

[変更処理中] 状態の文書数が表示されます。

- [削除検出]

[削除検出] 状態の文書数が表示されます。

- [削除処理中]

[削除処理中] 状態の文書数が表示されます。

- [削除済み]

[削除済み] 状態の文書数が表示されます。

- [エラー]

[エラー] 状態の文書数が表示されます。

- ・ [文書検索]

クリックすると、検索が実行されます。

検索結果の収集状況は、リソース・文書パス別に集計されます。リソース名と文書パスでソートされて [収集状況一覧テーブル] エリアに表示されます。

- [リソース名]

リソースの名前が表示されます。

クリックすると、そのリソースの [リソース設定] ページ (表示モード) が表示されます。

- [文書名]

文書の名前が表示されます。

- [文書パス]

文書のパスが表示されます。

- [状態]
文書の状態が表示されます。
- [コンテナフラグ]
検索結果が、[文書] であるか [コンテナ] であるかが表示されます。
- [文書タイプ]
文書の MIME タイプが表示されます。
- [収集区分]
[コンテナフラグ] が [コンテナ] だった場合、収集状況が表示されます。
文書の場合は「(空白)」となります。
- [エラーカウント]
文書の登録・更新がエラーになった回数が表示されます。
- [エラーメッセージ]
発生したエラーのメッセージが表示されます。

2.9 収集履歴を確認する

ここでは、リソース・日付ごと、日付・リソースごと、文書ごとの収集履歴を検索して、過去の収集の履歴情報を確認する手順を説明します。

2.9.1 [収集履歴] 画面の構成

トップ画面で、[収集履歴] をクリックすると、[収集履歴] 画面が表示されます。

2.9.2 収集履歴を確認する手順

1. 検索条件として、次の項目を設定します。

注記 複数の検索条件で収集状況を検索できます。検索条件はすべて AND で結合されます。

- ・ [リソース] プルダウンメニュー
[全て] および設定されているリソース名の中から、検索するリソース名を選択します。
- ・ [状態] プルダウンメニュー
文書の状態を選択します。
- ・ [エラー表示] プルダウンメニュー
文書の処理終了状態を選択します。
- ・ [文書パス]
文書の文書パスを入力します。
半角のアスタリスク [*] でワイルドカード指定できます。
半角で最大 2048 文字入力できます。
- ・ [文書名]
文書名を入力します。
半角のアスタリスク [*] でワイルドカード指定できます。
全角で最大 266 文字、半角で最大 800 文字入力できます。
- ・ [期間] プルダウンメニュー
履歴の発生日時を選択します。

補足 [期間] で選択できる日時範囲は、システム設定の収集履歴保持日数に依存します。
選択できる日時の最小値は（現在日から収集履歴保持日数を引いた日）の 0:00 で、最大値は（現在日の翌日）の 0:00 です。

日付、時、分の設定できる範囲は次のとおりです。

- ・ [日付]：（現在日から収集履歴保持日数を引いた日）～（現在日の翌日）
- ・ [時間]：[00] ～ [23]
- ・ [分]：15 分単位に [00]、[15]、[30]、[45]

2. [リソース別検索]、[日付リソース検索]、または [文書別検索] のいずれかをクリックします。

- ・ [リソース別検索]
クリックすると、検索が実行されます。
検索結果の収集履歴はリソース別、日付別に集計されます。リソース名、日付昇順でソートされて [収集履歴一覧テーブル] エリアに表示されます。

リソース名	日付	新規	更新	削除	異常終了
リソース	2021/02/05	2	0	0	0

図：[リソース別検索] をクリックした場合の [収集履歴] 画面

- [リソース名]
リソースの名前が表示されます。

- [日付]
収集履歴の発生日付が表示されます。
 - [新規]
新規登録された文書数が表示されます。
 - [更新]
更新された文書数が表示されます。
 - [削除]
削除された文書数が表示されます。
 - [異常終了]
エラーになった文書数が表示されます。
- ・ [日付リソース検索]
クリックすると、検索が実行されます。
検索結果の収集履歴は日付別、リソース別に集計されます。日付昇順、リソース名でソートされて [収集履歴一覧テーブル] エリアに表示されます。
- [日付]
収集履歴の発生日付が表示されます。
 - [リソース名]
リソースの名前が表示されます。
 - [新規]
新規登録された文書数が表示されます。
 - [更新]
更新された文書数が表示されます。
 - [削除]
削除された文書数が表示されます。
 - [異常終了]
エラーになった文書数が表示されます。
- ・ [文書別検索]
クリックすると検索が実行されます。
検索結果の収集履歴日付昇順、リソース名、文書パスでソートされて [収集履歴一覧テーブル] エリアに表示されます。
- [日時]
この文書の収集履歴の発生日時が表示されます。
 - [リソース名]
リソースの名前が表示されます。
 - [文書名]
文書の名前が表示されます。
 - [文書パス]
文書のパスが表示されます。
 - イベント区分
 - [新規]
 - [更新]
 - [削除]
 - イベント終了ステータス
 - [正常終了]
 - [エラー]文書の場合は「(空白)」となります。
 - [エラーメッセージ]
発生したエラーのメッセージが表示されます。

2.10 システム設定を行う

ここでは、統合検索サービスの動作の各種情報を設定する手順を説明します。

2.10.1 [システム設定] 画面の構成

トップ画面で、[システム設定] をクリックすると、[システム設定] 画面が表示されます。

項目	設定値
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>

図：[システム設定] 画面

補足 初期表示は、登録されている設定がすべて表示されます。

2.10.2 システム設定を行う手順

1. [システム設定] 画面で、次の項目を設定します。

◆ [項目]

プロパティ名を入力します。
半角で 256 文字まで入力できます。

◆ [設定値]

プロパティ値を入力します。
半角で 256 文字まで入力できます。

参照 設定するシステム設定データの詳細については、[\[2.11 システム設定データを設定する\] \(P.39\)](#) を参照してください。

2. 必要に応じて、手順 1 を繰り返してプロパティを入力します。

3. [設定] をクリックします。

システム設定が登録されます。

補足

- ・システム設定が正常に登録されると、その旨のメッセージが画面上に表示されます。
- ・[更新] をクリックすると、[システム設定] 画面が最新の状態に更新されます。
- ・システム設定の更新は、サービスの再起動を伴わずに自動的にサービスに反映されます。

2.11 システム設定データを設定する

リソース内のドキュメントがドキュメント管理サービスに登録されるときシステムの設定データや、管理アプリケーションでの最大表示行数などを設定します。

2.11.1 システム設定データ

[システム設定] 画面で設定するシステム設定データについて説明します。

表：システム設定データ

システム設定名	説明 (初期値、最小値、最大値)
com.fujifilm.fb.drep.externalcomponent.vdr.register.listenerCheckInterval	「更新起動リスナー」の登録チェックを行う間隔 (300,000 (5分)、1,000 (1秒)、3,600,000 (1時間))
com.fujifilm.fb.drep.externalcomponent.vdr.register.updaterExpireTime	更新マネージャーの破棄時間、更新が発生したときの更新マネージャーの破棄時間 (60,000 (1分)、10,000 (10秒)、1,800,000 (30分))
com.fujifilm.fb.drep.externalcomponent.vdr.register.minimumCollectionInterval	最短収集間隔 (240,000 (4分)、0 (0秒)、86,400,000 (24時間))
com.fujifilm.fb.drep.externalcomponent.vdr.register.superLowLoadWaitingTime	超低負荷待ち時間 (4,000 (4秒)、0 (0秒)、600,000 (10分))
com.fujifilm.fb.drep.externalcomponent.vdr.register.lowLoadWaitingTime	低負荷待ち時間 (2,000 (2秒)、0 (0秒)、600,000 (10分))
com.fujifilm.fb.drep.externalcomponent.vdr.register.normalLoadWaitingTime	通常負荷待ち時間 (1,000 (1秒)、0 (0秒)、600,000 (10分))
com.fujifilm.fb.drep.externalcomponent.vdr.register.serviceManagerInvokeInterval	サービスマネージャーチェック間隔 (60,000 (1分)、1,000 (1秒)、3,600,000 (1時間))
com.fujifilm.fb.drep.externalcomponent.vdr.register.collectionStanbyInvokeInterval	収集待機待ち時間 (30,000 (30秒)、1,000 (1秒)、1,800,000 (30分))
com.fujifilm.fb.drep.externalcomponent.vdr.register.updateContentDefaultPrimary	内容依存情報の更新におけるPrimary更新のデフォルト値 (0、0、1) 0:更新しない 1:更新する
com.fujifilm.fb.drep.externalcomponent.vdr.register.collectionHistoryRecordLevel	履歴記録レベル (0、0、2) 0:すべてのイベントを記録 1:エラーイベントだけ記録 2:履歴を残さない
com.fujifilm.fb.drep.externalcomponent.vdr.register.collectingHistoryPreserve	「収集履歴保持日数」：発生から何日間収集履歴保持するかを示す値。(7、1、1,000)
com.fujifilm.fb.drep.externalcomponent.vdr.webadmin.maxDisplayLines	「最大表示行数」。デフォルトは1,000。100から100,000まで指定できる。範囲外の値が設定されると、デフォルト値で処理される
com.fujifilm.fb.drep.externalcomponent.vdr.register.historyManagerCheckInterval	履歴管理チェック間隔 (43,200,000 (12時間)、1,800,000 (30分)、86,400,000 (24時間))

表 : システム設定データ

システム設定名	説明 (初期値、最小値、最大値)
com.fujifilm.fb.drep.externalcomponent.vdr.register.registClientMaxForOneResource	1リソース登録クライアント最大数 (10、1、20)

2.12 動的外部ドキュメントのプライマリーコンテンツを削除する

動的外部ドキュメントのプライマリーコンテンツを削除する手順を説明します。

2.12.1 統合検索サービスで全文検索サービスを利用する場合の手順

1. 統合検索サービスで使用するキャビネットに全文検索インデックスの初期化がされていない場合は、次の作業をしてください。

- (1) ドキュメント管理ツールを起動します。

- (2) 次のコマンドを実行して、統合検索サービスで使用するキャビネットをメンテナンスモードにします。

```
>setModeOfCabinet
```

- (3) 次のコマンドを実行して、統合検索サービスで使用するキャビネットに全文検索インデックスの初期化をします。

```
>initializeFtsIndex
```

- (4) 次のコマンドを実行して、統合検索サービスで使用するキャビネットをノーマルモードにします。

```
>setModeOfCabinet
```

2. 次のコマンドを実行して、統合検索で使用するキャビネットに全文検索インデックスの更新をします。

```
>buildFtsIndex
```

3. 次のコマンドを実行して、統合検索で使用するキャビネットに全文検索インデックスの最適化をします。

```
>optimizeFtsIndex
```

4. 次のコマンドを実行して、統合検索で使用するキャビネットのプライマリーコンテンツの削除をします。

```
>shiftPrimaryCacheToScavengeTarget
```

```
>executeStorageScavenge
```

参照 各コマンドの詳細については、『ドキュメント管理サービス管理者ガイド』を参照してください。

2.12.2 統合検索サービスで全文検索サービスを利用しない場合の手順

1. 次のコマンドを実行して、統合検索で使用するキャビネットのプライマリーコンテンツの削除をします。

```
>shiftPrimaryChacheToScavengeTarget  
>executeStorageScavenge
```

参照 各コマンドの詳細については、『ドキュメント管理サービス管理者ガイド』を参照してください。

2.13 アカウントログについて

統合検索サービスのログについて説明します。

アカウントログは、統合検索サービス運用中の操作内容を記録するログです。

システムの稼働状況の分析、またはシステム障害原因のために利用します。

格納先

参照 ログファイルの格納先については、『システム管理者ガイド』を参照してください。

アカウントログに記録される情報

統合検索サービスには、登録サービス、管理アプリケーション、ストレージプロキシの3つのサブコンポーネントがあります。アカウントログに記録される内容は、サブコンポーネントごとに異なります。

■ 登録サービスのアカウントログに記録される情報

登録サービスのアカウントログには、次の情報が記録されます。

コンポーネント共通部分（第1～第11カラム）には、『システム管理者ガイド』の「ログについて」の章のアカウントログの構成表に従った内容が記録されます。

コンポーネント拡張部分（第12カラム）には、次の情報がカンマ区切りで記録されます。

表：登録サービスのアカウントログに記録される情報

記録内容	詳細情報
更新区分	CREATE：追加 MODIFY：更新 REMOVE：削除
リソースID	統合検索内部のリソースのID
ドキュメントID	統合検索登録サービス内部のドキュメントのID
オブジェクトID	ドキュメント管理サービスのオブジェクトID
親ID	統合検索登録サービス内部のドキュメントの親のID
ストレージドキュメントID	ストレージプロキシのドキュメントID
名前	ドキュメントの名前
–	未定義カラム
コンテンツタイプ	ドキュメントのコンテンツタイプ
コンテナフラグ	0：ドキュメント 1：フォルダ
更新日時	ドキュメントの最終更新日時
フォルダ収集ステータス	0 or 1 フォルダが更新検出済みか否かを示す値 登録処理とは無関係
コンテンツステータス	ドキュメントごとのサブステータス
エラーカウント	ドキュメントごとのエラー回数 登録処理が成功されると0にリセットされる

表 :登録サービスのアカウントログに記録される情報

記録内容	詳細情報
エラーメッセージ	エラー内容 処理成功時は空
処理結果	OK : 処理成功 NG : 処理失敗

■ 管理アプリケーションのアカウントログに記録される情報

管理ツールのアカウントログには、次の情報が記録されます。

コンポーネント共通部分（第1～第11カラム）までは『システム管理者ガイド』の「ログについて」の章のアカウントログの構成表に従います。

コンポーネント拡張部分（第12カラム）には、次の情報が記録されます。

表 :管理アプリケーションのアカウントログに記録される情報

操作	記録内容
リソースの追加操作	Add Resource.
リソースの削除操作	Delete Resource
システム設定の設定操作	Edit SystemSetting.
ログイン失敗	Login Failed
ログイン成功	Login Success
「ポータルへ」の操作	Portal
属性マッピング設定の表示操作	Show AttrMappingConfig
文書別収集履歴画面の表示操作	Show Document CollectionHistory
文書別収集状況画面の表示操作	Show Document CollectionSituation
フォーマット設定の表示操作	Show FormatConfig
ヘルプの表示操作	Show Help
登録先設定画面表示	Show RegistConfig
リソース別収集履歴の表示操作	Show Resource CollectionHistory
リソース別収集状況の表示操作	Show Resource CollectionSituation
リソース設定の表示操作	Show ResourceConfig
リソース一覧の表示操作	Show ResourceList
バージョン情報の表示操作	Show Version
収集開始	Start Collection
再収集開始	Start ReCollection
リソース設定の更新操作	Update Resource

■ ストレージプロキシのアカウントログに記録される情報

ストレージプロキシは、アカウントログを記録しません。

2.14 管理アプリケーションを終了する

ここでは、管理アプリケーションを終了する手順を説明します。

管理アプリケーションを終了する手順

1. 画面右上の  ([ログアウト] アイコン) をクリックします。
ログアウトし、[ログイン] 画面に戻ります。
2. Web ブラウザーの [×] ボタンをクリックします。
管理アプリケーションが終了します。